貴 13
3813
10

芙金
大盡屋
十編
春水作
甘泉堂蔵

黄金水大盞杯
十編
甘泉堂梓
上
爲永春水作
勇齋國芳画
下

へ13
3813
巻 10

大盡盞拾編下冊

為永春水作
一勇斎國芳画
芝泉市樣

一

黄金水十編

為永春水誌

倒る地ゐい黄金と握つく起き。凡突所ゐい珠と掴んで立つと實ゑ轉んでも只い起ぬ。世界の風俗世の人情。夫を種ゐる合巻と。紀文が傳記と號るもおのづから狂言奇語て綴ゐる冊子い是と基くまとも多く。硯の海乃根底水ゐ只管思ひと浮めつ。筆頭の運ぶと急ごのきくれゆく。

御向に凡突く所ゐい。握る余る玉の汗。械ひとりのへず

一輯ごとて茲ゑ再び幕と云ふえ

庚申陽春新版

黄金水十編
百屋の
孃妾小舟

百屋の
孃妾阿舌
接伽の妻
道の野

丁百屋
抜作
手代
乃世吉
丁百屋の
磯妻阿伊達

百味樓

國芳画 春水作

いろは文庫

玄蕃 補助

種ひさ さく

仮名反古一体草紙 十二編 種久作 十三編 國芳画

風俗浅草嶽 種清さく 八編九編 國芳画

黄金水仙 十編 春川玉芳画 大盡童 永春作

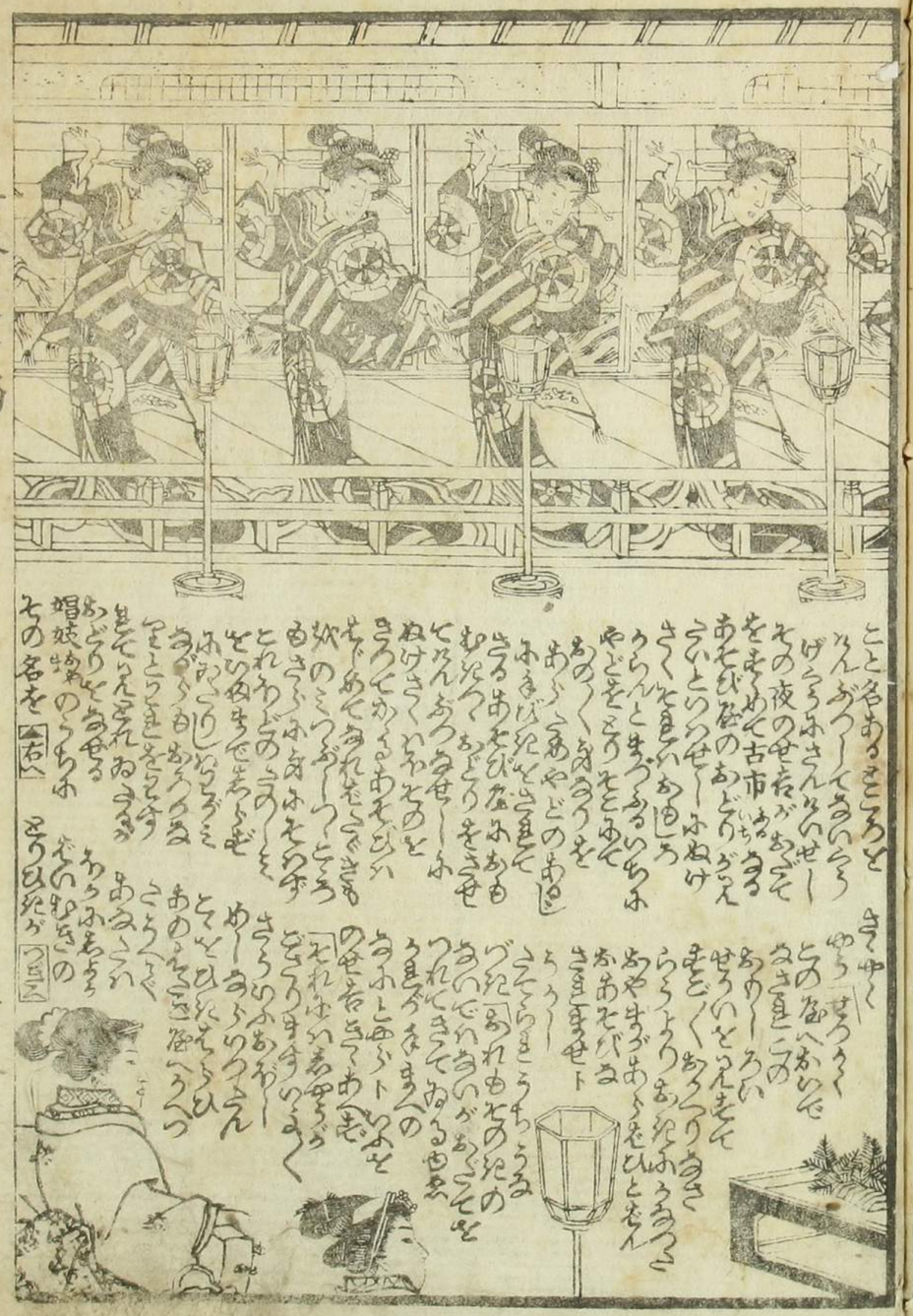
新編金瓶梅 新編 琴調 十編 大屋 豊國画

三

上の巻の

○此唄妓の吏次の本文ふ

伊勢の古市踊見物の狀



四
三の巻より

五の巻へ

安政七申春發行　甘泉堂　和泉屋市兵衛板

文久四甲子春新版

女郎花五色石臺
初編より十編迄大尾
柳下亭種員作
一惠齋芳幾画

黄金水大盡盃
十五編 十六編
爲永春水作
一惠斎芳幾画

一壽齋國貞画
諸國繁栄遊廓双六
出た國々は色ごとをめくらばいなくなくあつめるもたれしら紙きせこ六よは結ぶ百は求の往来春

風俗淺間山嶽
十二編 十三編
柳下亭種員作
一惠齋芳幾画

忠臣貞婦
いろは文庫
八編 九編
柳煙亭種久作
同画

假名反古
一休草紙
十五編 十六編
同作同画

芝神明前
甘泉堂板